

2013年度活動報告書

2014年5月25日

特定非営利活動法人 イカオ・アコ

目次

- | | | | |
|---|-----------------|----|------------------|
| 1 | スタディーツアー事業 | 8 | 植林実績 |
| 2 | フェアトレード事業 | 9 | イカオ・アコ国際協力研修センター |
| 3 | JICA 草の根パートナー事業 | 10 | カフェ Midori オープン |
| 4 | 緑の募金事業 | 11 | 国内活動 |
| 5 | イオン環境財団助成事業 | 12 | 会計報告 |
| 6 | まちづくり地球市民財団 | 13 | 監査報告 |
| 7 | 企業連携 | 14 | 寄付者一覧 |
| | 7.1 ニチバン | | |
| | 7.2 アストモスエネルギー | | |



1. スタディーツアー事業

名 称	開催日時	開催場所	参加者	備 考
第 69 回スタディーツアー	5/1～ 5/6	シライ、マナプラ、 ビクトリアス	3 名	ニチバン(株)の職 員が参加
岡山一宮高校スタディーツ アー	8/4～8/8	シライ、サガイ、バ ゴ	12 名	Kanesige Farm や カービンリーフ
第 70 回スタディーツアー	8/20～ 8/26	ボホール島ウバイ	17 名	桜丘高校初のボ ホール島
第 4 回 NICE 共催ワークキャ ンプ	9/2～ 9/15	ボホール島ウバイ	12 名	
地球の歩き方国際ボランテ ィアツアー	8, 9, 2, 3 月で 7 回	シライ、パタグ タリサイ	64 名	
第 5 回 NICE 共催ワークキャ ンプ	2/24～ 3/7	ボホール島ウバイ	10 名	



69 回ツアー記念撮影(ビクトリアスの住民
とともに)



70 回ツアーにおける植林の様子(シナンデ
ィガン村)

2. フェアトレード事業

2013年度の売り上げは277,408円であった。2012年度に比べて30%減少した。

(今後の課題)

- ・大口の取引先であったハロハロプロダクツの販売量が減少している。多様なチャンネルを開拓する必要がある。
- ・複数のネットショップに登録し、ホームページやブログからリンクを張り、露出を高めたい。



売れ筋のマイバッグ(大)



女の子に人気のランチバッグ

3. JICA 草の根技術協力事業 (パートナー型)

エコツーリズムを導入した流域単位での森林再生と環境教育事業

3年間のプロジェクトが終了した。このプロジェクトでは、流域単位でのエコツーリズムを軸とした、森林再生と環境教育を行うことによって、効果的に森林を再生・拡大させ、森林の保全事業に市民及び観光客の参加を促すことを目標としている。ほぼ計画通り事業が進んで、成果も確実に見え始めている。後続のプロジェクトに対して助成金を獲得している (JICA 基金など)。

業務完了報告書（最終年次）＜サマリー＞

1. 事業名（対象国名）	エコツーリズムを導入した流域単位での森林再生と環境教育事業（フィリピン共和国）			
2. 事業実施団体名	イカオ・アコ			
3. 事業実施期間	平成 22 年 10 月～平成 25 年 9 月			
プロジェクト要約 (Project Summary)	指標 (Indicators)	基準値 (Baseline Values for Indicators)	目標値 (Target Values for Indicators)	達成度 (Results)
<u>上位目標 (Overall Goal)</u> 住民が環境に配慮した経済活動を営めるようになる。				
<u>プロジェクト目標 (Project Purpose)</u> 上・下流地域における持続可能な森林再生モデルが形成される。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上流と下流のつながりを意識して環境活動を行っている住民の数 2. 市内の高校における流域管理に関する環境教育授業の時間数 3. 植樹に参加する観光客の数 4. 植樹、環境教育、エコツーリズムの活動を通じた教訓が引き出される 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 10 人 2. 0 時間/年 3. 100 人/年 4. 教訓なし 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 300 人 2. 12 時間/年 3. 1000 人/年 4. 教訓がマニュアルやパンフレットや報告書にまとめられる 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 2013 年 7～8 月に実施した意識調査の結果から、上流と下流のつながりを意識して環境活動を行っている住民の数は、少なくとも上流部で 326 人、下流部で 262 人、合計 588 人以上いるということが分かった。 2. 市内の高校 DMLMHS で、上流部・下流部で植林を行う 12 時間/年のカリキュラムが完成した。 3. 2011 年に植樹に参加した観光客の数は 1,684 人で、2012 年のそれは 1,862 人となり、目標の 1000 人/年を大幅に超えた。 4. 本プロジェクトの教訓は、環境教育マニュアル（英語版のみ）及び、フォーラムのプレゼン資料にまとめた。また、教訓等を 2013 年 9 月 25 日に開催したフォーラムにて発表した。
<u>アウトプット (Output)</u> 1. 住民が主体となって森林再生を行う体制が整う。 2. 学校が積極的に流域の森林再生に携わる体制が整う。 3. 都市からの観光客が植林に参加できる体制が整う。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上・下流部に植樹される 2. 流域管理に関する環境教育マニュアル・および教材が作成される。 3. 観光客を対象としたガイドマップやチラシ等が作成される 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 植樹なし 2. マニュアル・教材なし 3. エコツーリズムのチラシ 100 枚配布、レストランにカード配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上流部 30ha、下流部 3ha 2. マニュアル・教材が作成される 3. ガイドマップ 5,000 枚配布、チラシ 5,000 枚配布、バナー作成 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上流部では、30.5 ヘクタール（1ヘクタール当たり、原生種 200 本、果樹 400 本、コーヒー又はカカオ 400 本）の植林が完了した。下流部では、3ヘクタールに 30,278 本のマングローブの苗木の植林が完了した。 2. 環境教育マニュアル、環境教育用のラミネート教材が完成した。また、先生へのトレーニングによって、28 人の教育者の養成を行った。 3. プロジェクトを紹介したガイドマップを 6,000 枚配布した。エコツーリズムのチラシは、4,000 枚配布した。また、各プロジェクトサイト・施設にはバナー（横断幕）又は看板を設置した（合計 20 枚程度）。

4. 緑の募金事業

テーマ：西ネグロス州中部における水源涵養林と魚付き林の整備

2010年度から始まった、3年計画のプロジェクトの1年目を終え、2年目である。

沿岸部のイログ郡ボカナ村は、西ネグロス州イログ郡の中で最も南に位置し、海岸線は約1kmある。この地域には、イカオ・アコがオーガナイズしてできた Bocana Mangrove Lovers Association (BMLA) という団体がある(メンバー数50人)。この団体は、主に、マングローブの育苗・植樹・メンテナンス活動を行っている。これまでに、イカオ・アコと共に5万本以上のマングローブを植樹してきた。このメンバーは、収入を漁業に依存しており、1日の収入が3ドル程度の貧困家庭である。しかし、マングローブの植樹活動には意欲的で、将来の漁業の活性化、地域の活性化につながるということから、将来を見据えた活動を継続している。事業により、計画通り2.5haに25,900本の植樹が完了した。

上流部では、植林には至らなかったものの、苗床と有機肥料を作るためのミミズ小屋を建築することができた。この苗床を利用して、地域の小学生たちが苗木を作り、植林を行っていく予定である。



ボカナ村で苗の防護柵を設置

5. イオン環境財団 助成金事業

実施期間：2013年4月～2014年3月

対象地域；ボホール島ウバイ郡 カタルンガン村、シナンディガン村、ビアバス村

植樹本数：20,050本

《概要》

現地の村人、小学生、高校生、大学生、日本からのボランティアが協力し合い、合計20,000本のマングローブ植樹活動を行った。3回の植樹ツアーを行い、日本の高校生、大学生約40名が参加し植樹の他、日本の文化紹介（踊り、ゲーム、料理など）を行い、日本人参加者は村人の家にホームステイするなどの文化交流を実施した。

また、小学生を対象に、劇でマングローブの重要性をうったえ、クイズで知識の確認をする環境教育も実施した。



植樹風景

《2013年4月～2014年3月までの植樹本数》

植樹日	村	本数
8月22日	カタルンガン村	1,500本
8月23日	シナンディガン村	2,900本
9月7日	カタルンガン村	770本
10月26日	カタルンガン村	730本
3月1日	ビアバス村	6,150本
3月4日	シナンディガン村	8,000本
	合計	20,050本

《今度の展望》

今年度は、破棄された養殖池のオーナーも植樹に参加した。ただ、生活の為に新たな養殖池を作る事などから、マングローブは現在も減少している。放置された養殖池も見られ、今後もまだまだ植樹は必要であり、来年度も継続して活動を行っていく。

来年度は、一昨年建設した竹橋の延長を行い、更に植樹エリアが拡大する。また、違法伐採を防ぐ取組みで、薪の代わりに籾殻を使用したコンロの紹介を予定している。

活動の様子



植樹後に村人と



環境教育



文化紹介

6. まちづくり地球市民財団 2013 年度事業の概要(完了報告書より抜粋)

1. 事業名称	フィリピンの貧困農山村における環境調和型農畜産業育成事業
2. 事業実施場所	フィリピン共和国西ネグロス州シライ市パタッグ村及びギンバラオン村
3. 事業内容 ①対象者人数 ②活動内容の概要	<p>イカオ・アコスタッフ 3名 MAFA メンバー49名</p> <p>パタッグ村バリグアン地区のメンバーを集めて、有機農業およびランポンプ(水の落差を利用して水をくみ上げる装置)についてのセミナーを行った。メンバーたちは、生態系や有機農業の重要性、ランポンプの仕組みなどについて理解した。10名で設置作業を行った。谷底の湧水が垂直距離で 70m上の民家と農地へ汲み上げられた。村人とミーティングを重ね、バリグアン地区の 15 家族がこの水を協働で運営することになった。今後、この水路を利用し、高付加価値の野菜が育てられるようになることと、水汲みにかかる時間が節約されることで、住民の生計が大幅に向上する。</p> <p>ギンバラオン村ランタワン地区の堆肥化施設としてバイオガスとスラッジタンク(豚糞をためるタンク)の建設を行った。1月下旬に完成し、2月上旬に豚舎からの排せつ物をタンクに流し込み始めた。4月になって、バイオガスが発生しているのが確認された。ガスを採取したのちの固形物(スラッジ)は、豚舎の下のオーガニックファームにて、堆肥として利用される。また、別のプロジェクトによって、近隣に食品加工施設を建設したが、その施設においてバイオガスを利用し調理を行う予定である。</p> <p>11月に開墾を行い、ニガウリ、インゲン豆、トマト、青ネギ、カボチャ、サヨテ、ピーマン、トウガラシ、ナス、きゅうり、レタス、オクラ、大根、ニンジン、玉ねぎが植えつけられた。堆肥には、豚の糞尿を含んだ籾殻を利用した。シライ市と共催で、パタッグ村において有機農業の研修が始まった。本研修にMAFAのほとんどのメンバーが参加し、有機農業に関して実践と理論を学ぶ機会を得た。このことにより、有機肥料や調理燃料にかかる費用が節約されるため、住民の生計が向上されると考えられる。</p>



ランポンプに供給する湧水をためるタンク



居住地まで水が届いて喜んでいるメンバー

7. 企業連携

7. 1 ニチバン株式会社

キャッチフレーズ：ニチバン巻心 Eco プロジェクト

ニチバン株式会社と共に、2010 年度にニチバン(株)と使用済みテープの「巻心」(芯じゃなくて、ココロです)を資源回収して、ダンボールに再生した収益金をイカオ・アコに寄付していただく仕組みを作った。

2013 年に寄付していただいた苗の本数は 30,025 本です。ビクトリアス市、マナプラ市、シライ市に植林しました。

テープの巻心を集めて緑の地球を守ろう！

<http://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/main.html>



7.2 アストモスエネルギー株式会社

実施期間： 2013年7月～2014年4月

対象地区： ボホール島ウバイ郡シナンディガン村、ビアバス村

植樹本数： 23,900本(補植用6,000本含む)

《概要》

アストモスエネルギー(株)からイカオ・アコに連携の要望があり、2010年度から「あすをともし森づくり」活動が始まった。この活動は、アストモスガスグループ各社だけではなく、アストモスガスを利用している顧客とともに「あすをともし森づくり」活動を行うことを目指し、オレンジレーター(アンケートはがき)の返信1枚につき1本の植樹を行っている。今年度は17,400本の植樹、枯れてしまったところの再植樹を5,220本することを目標とした。4年間の合計本数は、補植数も含め149,589本に達した。

アストモスエネルギー(株)「あすをともし森づくり」<http://www.astomos.com/mori/asumori.html>

《2013年7月～2014年4月までの植樹本数》

植樹日	村	本数	補植本数
8月24日	ビアバス村	1,700本	
8月25日	ビアバス村	300本	
9月8日	ビアバス村	1,800本	
9月10日	ビアバス村	1,200本	
11月7日	ビアバス村	1,000本	
11月12日	ビアバス村	2,000本	
12月13日	ビアバス村	1,620本	
12月20日	ビアバス村	2,260本	
12月22日	ビアバス村	740本	
2月18日	ビアバス村	380本	
2月19日	ビアバス村	2,100本	
4月4日	ビアバス村	2,800本	
4月5日	シナンディガン村		6,000本
	合計	17,900本	6,000本

《今度の展望》

今年度は、前年度の半数以下の植樹となったが、新たな植樹地ビアバスで植樹を行い、多くの村人が参加してくれた。海岸線での植樹は生存率が低くなるが、現在の所、約7割が生存している。今後もアストモスエネルギー(株)との連携を継続し、村人との協力を得ながらマングローブの植樹を実施していきたい。

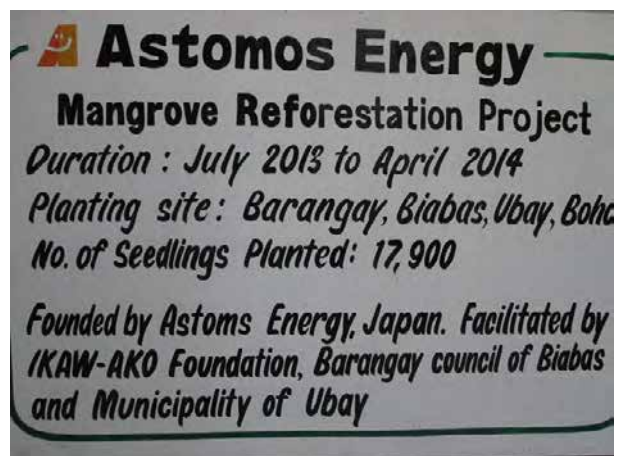
活動の様子



ビアバス村の人たちと



植樹



看板

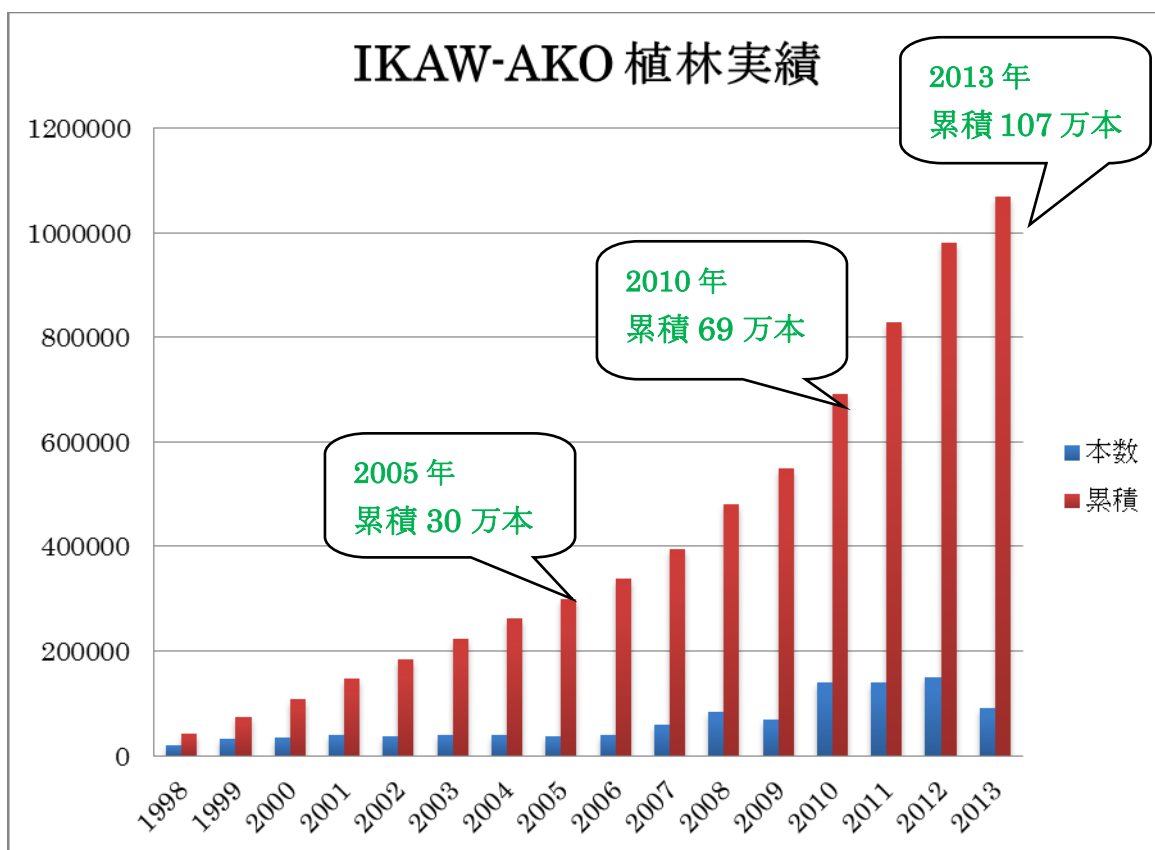
8. 植林実績

2013年度の植樹本数は、ネグロス島で53,725本、ボホール島で43,950本、合計97,675本である。

主に、ネグロス島のシライ市はJICA、ニチバン（株）、イログ郡は緑の募金、ビクトリアス市、マナプラ市はニチバン（株）との連携によるものである。

ボホール島では、ウバイ郡でイオン環境財団からの助成金で20,050本、アストモスエネルギー（株）との連携で23,900本の植樹を実施した。

累積本数は、当初の目標であった「2015年までに100万本」を2013年度で達成した。



9. イカオ・アコ国際協力研修センター事業

2013年度から地球の歩き方と提携しインターンシップツアーとして売り出すことで、生徒数が増加した。センターの運営によって、シライ市内の多くの施設にボランティアを派遣でき、イカオ・アコの活動がより市民に広まった。また、現地に寄せられた寄付物品を公平に配分できた。

生徒からは、様々なボランティア活動に参加でき、国際理解が広まったという声が寄せられている。また、リピーターも増えている。



Joyland での交流



日本文化の紹介



マングローブの苗木作り



デイケアで子供たちと遊ぶ

以下に、入所者実績を示す。

生徒番号	入所日	退所日	滞在日数	備考
1	4/29	5/5	7	研修センターリピーター
2	4/29	5/4	6	イカオ・アコ スタディーツアー参加者
1	7/29	8/4	7	研修センターリピーター
3	8/17	8/24	8	後藤先生の紹介
4	8/17	8/24	8	後藤先生の紹介
5	8/19	9/7	20	地球の歩き方ボランティアツアー参加者
6	8/23	9/17	26	地球の歩き方ボランティアツアー参加者
7	8/24	9/3	11	日本福祉大学生
8	8/27	9/5	10	インターン生の紹介
9	9/18	9/29	12	インターン生の紹介
10	9/20	9/26	7	イカオ・アコ スタディーツアー参加者
11	1/12	1/20	9	地球の歩き方インターンシップツアー
12	2/2	2/9	8	後藤先生の紹介
13	2/2	2/9	8	後藤先生の紹介
14	2/10	2/17	8	地球の歩き方インターンシップツアー
15	2/9	2/24	16	NICEワークキャンプ 参加者
16	2/16	2/23	8	地球の歩き方ボランティアツアー参加者の紹介
17	2/16	2/24	9	地球の歩き方インターンシップツアー
18	2/23	3/3	9	地球の歩き方インターンシップツアー
19	3/2	3/10	9	地球の歩き方のサイトを見て
20	3/2	3/10	9	地球の歩き方インターンシップツアー
21	3/2	3/10	9	地球の歩き方インターンシップツアー
22	3/2	3/10	9	地球の歩き方インターンシップツアー
23	3/2	3/10	9	地球の歩き方インターンシップツアー
24	3/5	3/13	6	日本福祉大学生
25	3/8	3/14	7	日本福祉大学生
26	3/8	3/18	11	日本福祉大学生
27	3/16	3/24	9	地球の歩き方インターンシップツアー
28	3/16	3/24	9	地球の歩き方インターンシップツアー
29	3/16	3/24	9	地球の歩き方インターンシップツアー
30	3/30	4/07	9	地球の歩き方インターンシップツアー

10. カフェMidoriオープン

2013年5月1日、シライ市の中心部(中央公園向かい)にイカオ・アコのアンテナショップ“Ikaw-Ako showroom and Café Midori”をオープンしました。このショップには、イカオ・アコの事務所を併設しており市役所にも近いため、とても便利になりました。

カフェ・ショールームをオープンした目的は、1. イカオ・アコが支援している団体の生産物を販売する場所を提供すること、2. イカオ・アコが支援している団体のメンバーの雇用を生み出すこと、3. カフェを通してイカオ・アコのアドボカシーを市民に広めること、4. シライ市内の流域に広がるイカオ・アコの受益者の集う場所を提供すること、5. シライ市民に健康でリーズナブルな食事を提供することです。

5月1日に後藤代表が現地入りされた際に仮オープン、シライ市のお祭りを間近に控えた6月3日にグランドオープンイベントを行いました。



8月には、クラウドファンディングのReady For!の目標金額も達成し、無事寄付金を頂くことができました。そのお金で、エアコン等の設備を増強しました。協力してくださった皆様ありがとうございました。

また、9月からは、JICA募金から助成を受け、みどりで販売する加工食品の生産施設の建設・生産のトレーニング及び、マーケティングに関する事業を始めました。

2月には、みどりのマーケティングの指導をするために、オーストラリアのボランティア Trish Pierson さんも現地に赴任されました。彼女の助言のもと、みどりの収益性アップを目指しています。



11. 国内活動

月	主な活動
4	国内インターン 太田さん採用
5	定時総会の開催（ピースジャムの佐藤代表の講演） 日本付属高校にて講演
6	桜丘高校にて総合学習支援
7	桜丘高校にてツアー説明会 留学生インターンシップ開始
8	桜丘高校スタディーツアー
9	桜丘高校にてアクションプランコンテスト支援 旅行会社 JST にて講演 ニチバンのイベント企画 支援団体「えびせんべいの里」表敬訪問 JOCA から地方の NGO についてインタビュー
10	桜丘高校学園祭にてエコグッズを販売 ワールド・コラボ・フェスタが台風で中止
11	桜丘中学が豊橋のイベントで出店 付属高校がリサイクルグッズを販売 JICA 職員と交流 愛知ボラセンと台風被害支援に関わり、打ち合わせ開始
12	国際協力カレッジの出展(JICA 中部・名古屋 NGO センター共催) 異業種交流会グリーンナイツの懇親会出席 愛知ボラセンとフィリピンへ調査 TOTO 水基金助成金の提案書で面接
1	アストモスへ表敬訪問 桜丘高校へ表敬訪問
2	JOCA のセミナーにて、話題提供
3	関東学院大学の担当者が研修センターの件で来訪 年賀寄附金の助成金に関し、監査 TOTO 水基金助成金の伝達式に出席 国際緑化推進センター報告会に出席

その他の継続的な活動

- ・植林ツアーの企画、参加者の募集、説明会の開催など
- ・プロジェクト提案書、報告書などの作成
- ・国内関係機関との打合せなど

活動計算書

平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取入会金	0		0
正会員受取会費	170,000		170,000
賛助会員受取会費	0		0
2. 受取寄付金			
受取寄付金	6,083,964		6,083,964
3. 受取助成金等			
受取助成金	11,449,622		11,449,622
4. 事業収益			
	5,442,523	277,408	5,719,931
	0		0
		0	0
5. その他収益			
受取利息	2,564		2,564
雑収入	0		0
経常収益計	23,148,673	277,408	23,426,081
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	2,696,477	0	2,696,477
法定福利費	0		0
人件費計	2,696,477	0	2,696,477
(2) その他経費			
諸謝金	980,250		980,250
印刷製本費	607,502		607,502
会議費	608,514		608,514
旅費交通費	2,584,937		2,584,937
通信運搬費	452,547	0	452,547
消耗品費	1,562,542		1,562,542
水道光熱費	153,485		153,485
賃借料	780,305		780,305
減価償却費	0		0
租税公課	25,500	0	25,500
雑費	3,314,466	86,452	3,400,918
その他経費計	11,070,048	86,452	11,156,500
事業費計	13,766,525	86,452	13,852,977
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		0
給料手当	3,825,236	190,956	4,016,192
法定福利費	0		0
人件費計	3,825,236	190,956	4,016,192
(2) その他経費			
諸謝金	0		0
印刷製本費	23,984		23,984
会議費	55,814		55,814
旅費交通費	4,007,457		4,007,457
通信運搬費	125,885		125,885
消耗品費	355,799		355,799
水道光熱費	0		0
賃借料	136,330		136,330
減価償却費	0		0
保険料	664,120		664,120
租税公課	149		149
雑費	953,832		953,832
その他経費計	6,323,370	0	6,323,370
管理費計	10,148,606	190,956	10,339,562
経常費用計	23,915,131	277,408	24,192,539
当期経常増減額	△ 766,458	0	△ 766,458
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正益			0
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 766,458	0	△ 766,458
前期繰越正味財産額			6,420,118
次期繰越正味財産額			5,653,660

平成25年度特定非営利活動事業会計貸借対照表

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目・摘要		金額	
I資産の部			
1流動資産			
現金預金		6,075,715	
未収金		0	
前払費用		0	
流動資産合計			6,075,715
2固定資産			
車両運搬具	0	0	
減価償却累計額	0		
什器備品	0	0	
減価償却累計額	0		
電話加入権		0	
固定資産合計			0
資産合計			6,075,715
II負債の部			
1流動負債			
未払金		0	
短期借入金		0	
流動負債合計			0
2固定負債			
長期借入金		0	
固定負債合計			0
負債合計			0
III正味財産の部			
前期繰越正味財産額		6,842,173	
当期正味財産増加額		-766,458	
正味財産合計			6,075,715
負債及び正味財産合計			6,075,715

平成25年度合計財産目録

平成26年3月31現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目・摘要	金額	
I資産の部		
1流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	261,403	
普通預金 三菱東京UFJ銀行武豊支店	3,457,207	
普通預金 ゆうちょ銀行0八九店	2,357,105	
未収金	0	
前払費用	0	
流動資産合計		6,075,715
2固定資産		
車両運搬具	0	
什器備品		
コピー機	0	
ワードプロセッサ	0	
ファクシミリ	0	
電話加入権		
〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	0	
〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	0	
固定資産合計		0
資産合計		6,075,715
II負債の部		
1流動負債		
短期借入金(理事長より)	0	
	0	
	0	
	0	
	0	
	0	
流動負債合計		0
2固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		6,075,715

2013年度会計監査報告

2013年4月1日から2014年3月31日までの2013年度会計年度における会計及び業務の監査に際し、関係書類を調査した結果、すべてが適正に処理されており、遺漏、過誤のないことを確認しました。

2014年5月25日

監 事 _____

14. 寄付者一覧

順不同、敬称略

企 業	団 体	個 人
アストモスエネルギー(株) ニチバン(株) リコー(株) (株)えびせんべいの里 Ready For! Gooddo ユナイテッドピープル	エコポイント事務局 茨城県国際交流協会 グリーンナイツ 桜丘高校・桜丘中学 名古屋 NGO センター 日福大学附属高校国際協力部 La Salle Language Center OK English Academy パルミエ	タムラマサン ナルセハルカ ワタナベアケミ ムラマツメグミ クロセヨウスケ イシカワアキコ ヤマダナツミ

ありがとうございました！